

城下こうさくメルマガ登録開始! ご登録をお待ちしております。

●空メールによる「城下こうさくメルマガ登録方法」についてご説明します。



①まず、QRコードを読み取って、記載されたアドレスに空メールを送ってください。
 ②次に折り返し、ご登録者様宛に本登録をお願いするメールが届きます。



③そのメールに記載されたメルマガ本登録サイトにアクセスして、本登録してください。
 ④ご登録者様宛に、メルマガ登録サイトから本登録完了のメールが届きます。
 ⑤これら①～④の手順に従って本登録完了のメールが届いたら、メルマガ登録が完了となります。

※ガラ携もやり方は同じです。
 ①～④の手順に沿って、仮登録から本登録まで終了してください。
 下記のQRコードからどうぞ!



城下こうさくホームページのご案内!

皆さまの熊本県政へのご要望・ご意見を心よりお待ちしております。

●熊本県議会議員(熊本市第一選挙区)
城下こうさく 熊本市の身近な代弁者
 Shiroshita Kousaku

●ホットライン
TEL 090-8661-7722
 お気軽にご相談ください。

プロフィール PROFILE | 政策 POLICY | 活動報告 ACTIVITY REPORT | 県議会通信 COUNCIL NEWS | 本会議会議録 COUNCIL PROCEEDING

常に全力投球です!

活動報告 RSS

いよいよ明日、代表質問
 2015年9月16日 活動報告
 明日9月17日、午前10時から私が県議会で代表質問を行います。本日の県議会で蒲島知事が3選出馬を表明しました。アベノ政執行は4月に行われる。物産博覧会に向けアベノ政の動きが注目されます。

●ホットライン(お気軽にご相談ください)
 県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722
 ●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/>
 ●メール shiroshita@kumamoto-komei.net



しろしたこうさく 城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者
 熊本県議員
 熊本市第1選挙区選出

熊本県庁
 〒862-8570
 熊本市水前寺6-18-1
 Tel.096-333-2645
 Fax.096-385-9767

県民の身近な代弁者 2016年 5月発行 第74号

ご挨拶



新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は大変お世話になっております。はじめに、この度の熊本地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

3月27日、蒲島知事3選が決まり、今後4年間の県政の舵取りで県内の景気・経済の興隆に期待が高まっていた中、あの、4月14日、16日と2度の震度7の大地震が発生し、益城町を始め多くの県内市町村に甚大な被害を受けました。最初の余震の時私は、自宅近くの歩道を妻と一緒に歩いていましたが、今までに経験したことがない揺れを感じ、ただ事でないと思騒ぎがしました。すぐさま自宅に戻り、家の中はあらゆるものが倒れ散乱している中から防災服を見つけ、県本部に車を走らせました。その後、震源地の益城町に行くことを決断、信号は消え薄暗い道路はあちらこちらで地割れや陥没があるなか、何とかして益城町役場にたどり着いたのは発災後1時間半後のことでした。町長に状況を確認した後、避難者で溢れる役場駐車場で救援物資のお手伝いをさせていただきました。これからも復旧・復興に向けて全力で取り組んで参ります。

謹白

平成28年5月吉日
 県議会議員(会派公明党) 城下広作

山口代表・井上幹事長らが被災地を激励・調査

4月21日、井上幹事長と益城町の避難所を訪問。その後、被災地の被災状況の調査と激励に回られ、当日は激しい雨の中でしたが、一日中奔走されました。

4月29日、山口代表が熊本入りされ、知事と懇談。その後は益城町や西原村、南阿蘇村を訪問。被災者の激励に回られ、全面的な支援を約束されました。



やりました!こんな事

●公明新聞4月28日付



城下広作県議

公明党の推進で、熊本地震で被害を受けた中小・零細企業の再建を後押しする取り組みが加速している。県信用保証協会は22日から、建物の損壊や風評被害で何らかの影響を受けた企業を対象に、

県信用保証協会

県

融資拡充し、特別相談会も

つなぎ資金や返済猶予

での「つなぎ資金」として、その企業の1カ月分の売り上げ高の貸し付けを保証する。6カ月以内に返済することが条件。また応急対応として、信用保証制度を利用した既存の借入金についても、最長6カ月の返済猶予に応じている。県信用保証協会の担当者は、「ま

定した。借入金の保証料は県が全額補助する。また同日からは、県内各地で「ワンストップ特別相談会」も始めた。被災中小企業の資金繰りや事業所の復旧をはじめ、経営全般の相談に、県や各地の商工会議所や商工会、熊本労働局などが応対する。県北、県央、県南の3地域ごとに毎週2回ほど開催する予定で、詳細は県のホームページなどで告知する。

公明が緊急要請 被災中小・零細企業の資金繰り支援については、党熊本

【信用保証制度】中小企業などが銀行などの金融機関から資金を調達する際、各地の信用保証協会が保証人となり、融資を受けやすくする仕組み。中小企業などが借入金の返済が困難になった場合は、信用保証協会が支払いを肩代わりする。

被災企業の再建後押し

熊本

当面の資金繰りを支援する「震災支援短期資金」の運用を開始した。同資金は、国などの公的な融資制度が整うま

保証制度を利用した既存の借入金についても、最長6カ月の返済猶予に応じている。県信用保証協会の担当者は、「ま

定した。借入金の保証料は県が全額補助する。また同日からは、県内各地で「ワンストップ特別相談会」も始めた。被災中小企業の資金繰りや事業所の復旧をはじめ、経営全般の相談に、県や各地の商工会議所や商工会、熊本労働局などが応対する。県北、県央、県南の3地域ごとに毎週2回ほど開催する予定で、詳細は県のホームページなどで告知する。

公明が緊急要請 被災中小・零細企業の資金繰り支援については、党熊本

【信用保証制度】中小企業などが銀行などの金融機関から資金を調達する際、各地の信用保証協会が保証人となり、融資を受けやすくする仕組み。中小企業などが借入金の返済が困難になった場合は、信用保証協会が支払いを肩代わりする。

●公明新聞4月30日付

被災者の声に迅速対応

山口代表 県知事らから要望聞く



公明党の山口那津男代表は29日、熊本県庁で浦島郁夫知事と会い、熊本地震の復旧・復興に向けた要望を受けた。党熊本代表の江田康幸衆院議員らが同席した。浦島知事は、一連の地震について「2度の震度7に加え、1000回を超える余震など、想定外の事態が続いており、終わりが見えない」と指摘。その上で、損壊が大きかった熊本城は「400年にわたる県民の熊本県の浦島知事(右端)から要望を受ける山口代表(左隣)ら29日 県庁

誇りだ」として、修復に向けた国の支援を要請した。また、29日に西原村内で仮設住宅の着工が始まったことを報告。「被災者の痛みを最小限にとどめたい」と訴えたのに対し、山口代表は「県内の公明議員と連携を取って現地の要望をくみ上げ、先手を打って政府に届けている」と応じた。その後、益城町役場では西村博則町長から、「住民は屋内で寝ることを怖がっている。心のケアが必要だ」との要望を受けた。さらに西原村役場で日置和彦村長からは、「村内の約35%の家が全半壊した。インフラの整備も遅れている」との声が寄せられ、南阿蘇村役場では長野敏也村長から、熊本市方面へ向かう道路の早期復旧などについて要望があった。

避難生活を送る高齢者をお見舞い

【熊本市、大津町】熊本地震で避難生活が長引く中、公明党熊本県議団の城下広作議員は23日、熊本市内の避難所で被災者の声に耳を傾けた。

高齢者のシェアハウス整備などの要望を受けた。その後、城下県議は公明党の豊瀬和久・大津町議と合流し、大津町内の避難所で被災者を励ました。



避難生活を送る高齢者の声に耳を傾ける城下県議(左)=23日 熊本市

●公明新聞4月24日付

被災者の一日も早い生活基盤再建に全力投球です!



生活基盤の再建を急ぐ

熊本地震で 南阿蘇、西原村を視察 石井国交相

熊本地震の被害状況を調査するため、29日から熊本県入りしている石井啓一国土交通相(公明党)は30日、南阿蘇村と西原村を訪れ、両村長と意見交換した。これには、党熊本県本部代表の江田康幸衆院議員と氷室雄一郎、城下広作、前田憲秀の各県議、森元秀一・阿蘇市議が同行した。このうち、石井国交相は南阿蘇村の長野敏也村長から阿

蘇大橋などインフラ整備に対する支援を求められた後、西原村で応急仮設住宅の建設予定地を視察。工事の進捗状況を確認するとともに、日置和彦村長から「全棟数の35%が全壊か半壊の状態」と被害状況について説明を受け、水道や農業用ダムなど生活基盤の復旧や仮設住宅の早期建設に関する要望を受けた。

所の村立河原小学校を訪れ、「道が塞がって農地に入れない」といった住民の声に耳を傾け、激励して回った。その後、石井国交相は、浦島郁夫県知事と大西一史・熊本市長に会い、基大な被害を受けた熊本城などの早期復旧・復興について意見を交わした。調査後、石井国交相は「被災者に寄り添い、国を挙げて復旧・復興へ取り組んでいく」と語った。



応急仮設住宅の建設予定地を視察する石井国交相(左から3人目)ら=30日 熊本・西原村

●公明新聞5月1日付

気づかないことが沢山あります!!

●公明新聞5月12日付



発達障がいのある子どもを持つ家族と意見交換する
(左から) 江田氏と城下県議

まもなく発生から1カ月を迎える熊本地震。まだまだ多くの被災者が避難生活を余儀なくされる中、一般避難所での生活が困難な高齢者や障がい者への支援が課題になっている。公明党熊本県本部(江田康幸代表、衆院議員)は6日、熊本市内で災害弱者(災害時要援護者)から話を聞き、その支援策について実態調査を行った。

「行き場のない窮状知って」

「うちの息子は、いきなり大声を出したり、落ち着かない行動をするんです。一般の避難所での生活が困難な高齢者や障がい者への支援が課題になっていく……」

苦しい胸の内を語ったのは古木満雄さん(63)。このため、周囲への遠慮から一般避難所を避け、しばらく車中泊や、地震によって家財が散乱して足の踏み場もない自宅での生

各自自治体と協定を結んだ老人福祉施設などで開設。介助員の配置や手すり設置などのバリアフリー環境が整備されている。各避難所の判断によって、妊娠中の女性や負傷して

災害弱者の支援が急務

江田氏ら 家族らの声聞き対策に全力

活を続けたという。

発達障がい児がいる岡田丈二さん(50)も、「災害弱者といっても見て分かる人もいれば、発達障がいのように分かりづらい人もおり、福祉避難所にも行きづらい」と話し、行き場のない窮状を語っていた。

高齢者や障がい者などの災害弱者や、その家族を優先的に受け入れる福祉避難所は、

歩行困難な人なども受け入れる。

熊本市が事前の計画で指定

熊本地震



発達障がい者や高齢者を受け入れる
熊本市中央区の福祉避難所

福祉避難所の受け入れ改善を

していた福祉避難所は176施設あり、約1700人の災害弱者の受け入れを想定していた。だが、打ち続く地震で利用できなくなる施設も相次ぎ、実際は69施設、345人の利用者(10日時点)にとどまっている。

市健康福祉政策課によれば、「この10日間で福祉避難所の利用者は200人以上増えた。今後も、どれだけの人が来るのか正確な数字は分からない」(9日)と、需要を把握するのは容易ではないという。

この日、江田氏らとの懇談で、古木さんは「救援物資が手に入らないと城下広作県議に相談したところ、すぐに食料を手配してくれて助かった」と、震災直後の公明党の行動に感謝の言葉を述べた。また、今後の支援策について意見交換する中で、自治会長など地域の責任者に、事前に災害弱者の情報把握を促すことを提案した。

江田氏らは「災害弱者への理解を広げるとともに、福祉避難所の受け入れ体制強化へ、県や市と連携しながら対策を講じていく」と約していた。

震災後、被災者が抱える問題点が多い

ことが、相談を通してよくわかる様になりました。粘り強くスピード感を持って全力で対処して参ります。

被災店舗の再建に全力

熊本市で 商業ビルの状況調査

熊本地震では、熊本市内の商業ビルにも大きな被害が生じ、営業再開のめどが立たない飲食店などが相次いでいるため、公明党の城下広作県議は4日、同市中央区で被災状況を調査した。同区内にある繁華街「サンロード新市街」では、今回の地震で多くの建物が被災。このうち、城下県議が調査した、老舗うどん店な

どが入る西村節郎さんが所有するビルも、柱や壁にヒビが入り、営業が続けられない状態となっている。西村さんは「ビルは建て直すしかないが、資金繰りの見直しはまったく立たない」と窮状を訴え、城下県議は「街が活気を取り戻すためにも、商店などの一日も早い復旧に全力で取り組んでいきたい」と語った。



西村さん(左)からビルの被災状況を聞く
城下県議=4日 熊本市中央区

●公明新聞5月15日付

被災者のために使って

生活再建のために役立てて……。熊本地震で甚大な被害を受けた熊本県西原村に14日、被災者支援の目的で1台の軽トラックが寄贈され、村関係者から喜ばれている。

寄贈したのは、福岡県北九州市で会社を経営する内山健作さん(57)。被災地で家の倒壊により多くの車が壊れている実情を知った内山さんが、公明党の岡本義之同市議に車の寄贈を打診、岡本市議から連絡を受けた城下広作・熊本県議が西原村に仲介して実現した。

この日、内山さんは、息子の文貴君(10)と共に軽トラックを西原村に届け、日置村長と面会。

日置村長は「大変にありがたい」と感謝を述べた上で、軽トラックについては、被災者が災害ごみの搬送など



日置村長(右端)と握手する内山さん
(左から2人目)と城下県議(同3人目)
14日 熊本・西原村

●公明新聞5月5日付

熊本市で
県議が仲介

避難所に 介護用の浴槽届く!

●公明新聞5月11日付



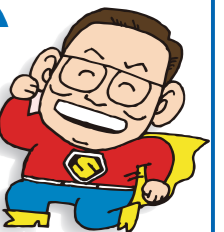
要介護者に「ひとときの安眠」を。訪問介護を専門とする「株式会社 楽」(横浜市)は10日、

久しぶりの入浴を喜ぶ正田さん(手前)を見守る城下県議(左端)と三森市議(右隣) 11日 熊本市中央区

久しぶりの入浴「心もすっきり」

熊本市中央区の避難所「サンライフ熊本」に介護用の浴槽を届け、高齢者や障がい者などの入浴補助を行った。これは公明党熊本県本部の仲介で実現したもの。
熊本地震を受け、同社の竹井隆一代表取締役が「介護が必要な被災者のために専用の浴槽を設置できる避難所はないか」と党県本部に相談。すぐに城下広作県議(同県本部幹事長)が三森至加市議と連携して受け入れ先を選定し、この日の入浴実現につながった。
両議員が見守る中、最初に入浴した正田光義さん(75)は「この状況下で車いす生活を送る私が、お風呂に入れるなんて夢にも思わなかった。3週間ぶりの入浴で身も心もすっきりした」と満面の笑みを見せた。

次回の県政報告誌も、新聞掲載記事を多く掲載したいと考えています。今後も「現場第一主義」で、熊本地震の復旧・復興に全力で取り組んで参る所存です。皆様方も、ご意見・ご要望がございましたら、現場へ参りますので、お気軽にお声がけください。



街のにぎわい、回復が急務



被災状況を聞く太田議長(左から4人目)ら 11日 熊本市東区

公明党の太田昭宏全国議員団会議長と樋口尚也青年局長(衆院議員)は8日、熊本地震で被害を受けた熊本市東区の健軍商店街を訪れ、同商店街振興組合の森田憲一理事長らから窮状を聞いた。氷室雄一郎、城下広作、前田憲秀の各県議、鈴木弘市議が同行した。
健軍商店街では、地震で総

合スパーの建物が損壊した上、アーケードの柱が折れ曲がって倒壊の恐れがある。そのためアーケード通りの一部区間が通行止めになり、約4割の店が営業を再開できていない。
森田理事長は「売り上げが大きく落ち込んでいる」と強調。商店街でアーケードを修復する場合、過去に行ったアーケードの改修費用の返済が済んでおらず、二重の負担を余儀なくされる状況を説明した。太田議長らは「街のにぎわいを早く取り戻すため、し

っかり対応していく」と述べた。
その後、太田議長らは熊本市庁を訪れ、蒲島郁夫知事と懇談。蒲島知事は、復旧・復興事業の財政負担が重いことを指摘し、「(地方負担が)かからないようにした」と東日本大震災と同じような財政支援をお願いしたいと要望した。太田議長らは「最大限に努力する」と答えた。なお、この日、太田議長らは、西原村の日置和彦村長や益城町の西村博則町長とも会い、要望を受けた。 11日 関連記事2面

熊本市で商店街の被災状況調査

頼りにしています。
頑張ってください!!

●公明新聞5月9日付

家財搬出に助成必要

党県議団 県知事に緊急申し入れ

だ」と強調。家財の仮置き場となるコンテナ設置などへの助成・支援を求めた。
また、災害時の要支援者を受け入れる福祉避難所に入れなかった障がい者や高齢者のために、「福祉避難

所に準じた施設の確保・拡充」を要望。さらに被災農家への支援策として、収穫期を迎えた夏野菜を収穫するボランティアの募集・派遣や農産物の販路確保が必要と訴えた。熊本県立劇場など文化・イベント施設の

3週間たった 熊本地震

早急な復旧も要請した。蒲島知事は「関係機関と連携して取り組んでいきたい」と述べた。



吉平社長(右端)らから話を聞く江田氏 拓和社長らから被災状況などを聞いた。同社は、倉庫にあつた食用油やしょうゆなどの商品が地震による被害に遭った上に、県内の物流が一時停止したために取引も停滞。被災後2週間で売り上げは前年に比べ半減し、今後の経営の見通しが立たない状態が続いている。

被災企業、全力で応援

熊本市で 卸売業者から窮状聞く

熊本地震により、熊本市内では事業存続の瀬戸際に立たされている中小企業も少なくないため、江田康幸

江田氏は、県内のホテルや旅館を中心に業務用食品などの卸売を行う株式会社吉平物産を訪問。吉平

吉平社長は「すでに廃業を検討している取引先もある。従業員を雇用し続けるためにも何らかの対策を打ってほしい」と訴えた。
江田氏は「被災企業をさらに支援する体制が必要。県と市、市が丸となって応援したい」と語った。

●公明新聞5月7日付



蒲島知事(中央右)に申し入れる城下団長(同左)、氷室雄一郎(右端)、前田憲秀の各県議=6日 熊本県庁

公明党熊本県議団(城下広作団長)は6日、熊本県庁で蒲島郁夫知事に対し、熊本地震に関する緊急申し入れを行った。発災からの3週間、党が県内各地を調査して把握した現場の実情を踏まえ、「特に緊急を要する課題」として6項目への対応を求めた。
城下団長らは、全壊家屋などの撤去に当たり、家屋に貴重品や家財、思いつきの品などが多数残されていることから、「運び出す際に一時保管できる場所が必要